

島根原子力発電所の運転状況（平成21年5月分）

中国電力担当分

【1号機】：5月7日に、第28回定期検査のため発電を停止。

【2号機】：5月は、全期間定格熱出力一定運転を行った。

1 運転保守状況（中電データ）

号機	炉型	定格電気出力	営業運転開始日	5月の設備利用率(%)	5月の発電電力量(万kWh)	6月18日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	19.4	6,643	計画停止中 (H21.5.7~) 第28回定期検査中	6/4、原子炉再循環系配管の溶接継手部について、超音波探傷検査による点検を実施していたところ、B-原子炉再循環系配管の溶接継手部1箇所にひびを確認。 今後、ひびの長さ、深さ等の詳細調査を行ったうえで必要な処置を施す。 (中国電力(株)公表済)
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	100.9	61,559	運転中 (H21.3.24~)	

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象（5月20日～6月18日）

該当なし

3 安全協定第10条で規定する異常事象（5月20日～6月18日）

該当なし

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

5月末現在

	5月末保管量(前月比増減量)	5月発生量	5月処理量 <sup>2</sup>	前月末保管量
ドラム缶保管量(本)	22,849(170)	188	18	22,679
その他の種類の保管量(本相当)	4,467(27)	38	65	4,494
合計	27,316(143) <sup>1</sup>	226	83	27,173

- 1 保管能力：35,500本
- 2 処理方法：ドラム缶減容処理  
焼却処理

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ）5月末現在（単位：体）

	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	250	1,824	2,074
貯蔵全容量	1,140	3,518	4,658
容量管理容量	660	2,818	3,478

管理容量 = 全容量 - (1炉心分<sup>3</sup> + 1取替分<sup>4</sup>)

3：1号機400体 2号機560体

4：1号機約80体 2号機約140体

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。

(単位：Bq)

	放射性液体廃棄物(5月)		放射性気体廃棄物(5月)		放射性気体廃棄物(1~3月)			
	トリチウムを除く	トリチウム	放射性希ガス	放射性碘素(I-131)	トリチウム(1月)	トリチウム(2月)	トリチウム(3月)	全粒子状物質(1~3月)
原子炉施設合計(今年度累計)	ND <sup>1</sup> (ND)	3.3 × 10 <sup>10</sup> (3.3 × 10 <sup>10</sup> )	ND <sup>2</sup> (ND)	ND <sup>3</sup> (ND)	2.2 × 10 <sup>10</sup>	1.9 × 10 <sup>10</sup>	1.7 × 10 <sup>10</sup>	ND <sup>4</sup>
号機別 <sup>6</sup> 内訳								
1号機	放出実績なし	放出実績なし	ND <sup>2</sup>	ND <sup>3</sup>	8.8 × 10 <sup>9</sup>	7.5 × 10 <sup>9</sup>	8.3 × 10 <sup>9</sup>	ND <sup>4</sup>
2号機	ND <sup>1</sup>	3.3 × 10 <sup>10</sup>	ND <sup>2</sup>	ND <sup>3</sup>	1.3 × 10 <sup>10</sup>	1.2 × 10 <sup>10</sup>	9.0 × 10 <sup>9</sup>	ND <sup>4</sup>
年間放出管理目標値	7.4 × 10 <sup>10</sup>	7.4 × 10 <sup>12</sup> <sup>5</sup>	8.4 × 10 <sup>14</sup>	4.3 × 10 <sup>10</sup>	-	-	-	-
サイトバンカ建物	-	-	-	ND <sup>3</sup>	1.7 × 10 <sup>8</sup>	1.3 × 10 <sup>8</sup>	2.7 × 10 <sup>8</sup>	ND <sup>4</sup>

1~4：検出限界値（1：約2 × 10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup>以下(<sup>60</sup>Co代表)、2：約2 × 10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup>以下、3：約7 × 10<sup>9</sup> Bq/cm<sup>3</sup>以下、4：約4 × 10<sup>9</sup> Bq/cm<sup>3</sup>以下(<sup>60</sup>Co代表))

5：年間放出管理の基準値を示す 6：液体廃棄物については放水口別内訳

(排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値)

(単位：cps)

	号機	5月分		先月の実績		安全協定で定める 通報基準値		
		最小	平均	最大	最小		平均	最大
排気筒モニタ	1号機	5.1	6.0	7.0	5.2	6.1	7.0	500 <sup>7</sup> (1,000 <sup>8</sup> )
	2号機	2.9	3.4	4.0	2.8	3.4	4.3	500 <sup>7</sup> (1,000 <sup>8</sup> )
放水路水モニタ	1号機	2.3	2.7	5.7	2.3	2.7	3.6	7 <sup>7</sup> (70 <sup>8</sup> )
	2号機	3.5	4.1	4.8	3.5	4.1	4.9	8 <sup>7</sup> (80 <sup>8</sup> )

- 7：この状態が10時間続くとき
- 8：この状態になったとき

7 平成20年度の放射性廃棄物の放出実績に基づく一般公衆の実効線量の評価<sup>9</sup>（中電データ）

項目	線量
実効線量の評価(平成20年度実績)	< 0.001ミリシーベルト/年 <sup>10</sup>
法令で定める一般公衆の線量限度(年間) <sup>11</sup>	1ミリシーベルト/年
参考：自然界から受ける線量(年間)	2.4ミリシーベルト/年

10：この評価値は、「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針」に基づいて、次のとおり評価した値。

気体廃棄物については放射性希ガスからのガンマ線による外部被ばく及び放射性ヨウ素の体内摂取による内部被ばくを、また、液体廃棄物中の放射性物質については、海産物を摂取することによる内部被ばくを実効線量で評価。

11：自然放射線などから受ける線量は除外した値。

8 モニタリングポストの測定結果(敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム)(中電データ、県データ)

(単位：nGy/h)

	敷地境界モニタリングポスト(中電管理分)						環境放射線情報システム(県管理分)											
							西浜佐陀	御津	古浦	深田北	片句	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結	
平均値	20	24	31	22	28	26	平均値	53	41	41	29	44	37	31	33	35	38	43
最高値	51	52	60	55	61	53	最高値	88	76	71	63	70	68	62	58	63	71	72
月平均の変動幅	19~23	23~27	30~34	21~25	28~31	26~29	平常の変動幅(上限)	87	71	68	56	68	64	64	57	73	68 <sup>12</sup>	73
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	前年度までの最大値	164	129	108	106	112	114	126	192	127	120	111

平常の変動範囲(上限)を超えた値は、降水の影響と推定される。

12：上講武は平成19年8月より移設したため、参考値

(参考) 定例プレスでは掲載しない情報の例示

(1) 環境放射線及び温排水測定結果・・・「環境放射線等調査結果報告書」(四半期報)で公表する。

(2) 地震発生時の発電所の状況連絡・・・震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。

担当：島根県 総務部 消防防災課 原子力安全対策室  
 電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930  
 中国電力(株) 島根原子力本部 広報部  
 電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514